

第2回 愛らifuデイサービスセンター 運営推進会議事録

日時 : 2017年 4月28日 (金) 12:45~14:00

場所 : 愛らifu1階フロアー

司会 記録 愛らifuデイサービスセンター相談員 春木

出席者: 構成員様

ご利用者様代表 今村勇治 様

地域住民の代表 榎田喜代子 様 山本美枝子 様 中川登喜様

堺基幹型包括支援センター 金戸 様

地域密着型通所介護の知見者 ほのぼの旭ヶ丘の家 施設長 日下部麗子 様

愛らifuデイサービスセンター

管理者 福岡千秋、リーダー 澤田正、相談員 春木久美子

欠席者: 構成員様

ご家族様代表 辻岡光春 様 (急用のため)

1、はじめに

- ・参加頂いた構成員6名様のご紹介

初参加の構成員様

地域住民の代表 中川登喜様の紹介

- ・本日の運営推進会議の流れについての説明

施設内見学後に、事業内容の報告会とする。

- ・愛らifuデイサービスセンター管理者あいさつ

地域密着型デイサービス開所一年を迎えての現状と今後について

2、施設内見学

- ・1階 入浴場 (機械浴、一般浴) トイレ、園庭、デイフロアー内

2階 入居フロアー2番地さくら通り (4人用居室)

リビングルームで利用者様と交流。

個室 (M様宅、K様宅)

3階 入居フロアー食事用花形テーブル

各見学先において状況、活動、使用の目的、方法を説明し構成員様からの質問対応を行なった。

見学終了後、入居の際の料金や、減免制度、待機者数などの質問があまり管理者が説明に応じた。

3、報告会

事業内容について

・運営状況の報告 担当 春木 (各①～③資料別紙にて)

- ① 介護度別月別利用状況
- ② 平成28年度事業報告
- ③ 平成29年度(2017年)目標

上記資料をもとに説明後、構成員様からは、予防事業について継続確認のご質問があり、現段階では、継続の方向で取り組んでいく事を伝える。

・地域交流(活動)についての報告(①、②案内ちらし別紙にて)

- ① 愛カフエ(堺ぬくもりカフエ認証)の活動状況について
開催より一年で平均利用人数15名、ミニ講座の開設、見学者もあり定着。
- ② 公益事業(マイライフ輝きタイム)について

H29年4月より堺老人センターで月1回開催。初回17名参加し活動の趣旨、内容を説明。

・活動状況の報告及び新年度への取り組み 担当 澤田 (各資料添付)

- ① クラブ活動について
- ② 新年度29年度の年間行事予定
構成員様の季節行事見学の希望を確認し9月「敬老祝賀会」の参加となった。

4、ご意見、質問

利用者代表 今村様より

- ・小規模になってサービス内容も工夫し我々利用者と職員がより身近になれたと思う。
- 地域住民の代表 梶田様、山本様 中川様より
- ・会議の参加や、見学を行い、デイサービスで何をするか、どう過ごしているのかが理解できて良かった。

・入所している人達が生き生きとしていて特養のイメージが変わった。地域の人のためにも増床するべき。

地域密着型通所介護の知見者ほの旭ヶ丘の家 施設長日下部様より

・デイサービスの利用者を含め施設内の利用者がのびのびとゆったりしている姿が印象的だった。ご自分らしく過ごしていると感じた。

堺基幹型包括支援センター金戸様より

・ネイルやマツサーズのサービス提供をされており利用者にとって、とても良い取り組みだと思った。

上記のご意見頂きました。

増床については、管理者より取り組んできた経緯を説明し、現段階では課題が多いが前向きに考えていきたいとお伝えした。

平成28年度後期 介護度別利用者状況表(月別)

		支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	利用日数	平均利用人数 (定員18名)	平均 介護度
10月	利用回数	18	19	84	70	91	39	8	329	21	15.7	2.40
	利用人数	5	3	10	13	12	6	1	50			
	認知症加算	-	-	13	-	39	9	8	69			
	入浴加算	-	-	62	66	90	39	8	265			
11月	利用回数	21	11	87	86	100	43	9	357	22	16.2	2.40
	利用人数	5	3	10	14	12	6	1	51			
	認知症加算	-	-	13	-	44	15	9	81			
	入浴加算	-	-	68	80	98	41	9	296			
12月	利用回数	15	9	90	76	106	42	9	347	22	15.8	2.40
	利用人数	4	2	11	12	13	6	1	49			
	認知症加算	-	-	13	-	45	19	9	86			
	入浴加算	-	-	69	72	105	42	9	297			
1月	利用回数	10	6	95	52	107	27	8	305	20	15.3	2.36
	利用人数	3	2	12	10	14	5	1	47			
	認知症加算	-	-	17	-	35	13	8	73			
	入浴加算	-	-	75	46	107	27	8	263			
2月	利用回数	14	4	81	70	104	31	8	312	20	15.6	2.34
	利用人数	4	1	11	11	14	4	1	46			
	認知症加算	-	-	25	-	38	17	8	88			
	入浴加算	-	-	52	58	89	25	7	231			
3月	利用回数	23	5	85	78	101	45	6	343	23	14.9	2.42
	利用人数	5	1	11	11	14	6	1	49			
	認知症加算	-	-	14	-	22	24	6	66			
	入浴加算	-	-	65	72	98	44	5	284			
集計	利用回数	101	54	522	432	609	227	48	1993	21.3	15.6	2.39
	利用人数	26	12	65	71	79	33	6	292			
	認知症加算	0	0	95	0	223	97	48	463			
	入浴加算	0	0	391	394	587	218	46	1636			

平成28年度 デイサービス事業報告書

地域密着型デイサービスの特性を活かし小単位で実施できるアクトデイデイを通して世代間交流や同世代交流を図り社会的交流に繋がった。利用者様一人一人の個性に着目した役割作りや、活動における成長過程を大切にした取組に努めた。また、利用者様が住み慣れた地域で可能な限り自分らしい生活が送れるよう生活動作の維持向上や、心身機能の活性に資するリハビリ体操を実施した。

1、 レクリエーション

午前は、創意・創作的活動プログラム（大人の塗り絵・読書・数字パズル）を中心に脳活性トレーニング（書写、間違いがし、計算問題）も取り入れ利用者様に選択して頂くことで自主性を引出した。また、各クラブ（編み物、将棋、カラオケ、園芸）の活動参加により社会的役割や社会的交流を深める中で活動意欲の向上が図れた。園芸クラブでは作物の成長過程を見守り育む喜びに加え、育て上げた作物の会食会にと、一連の活動過程プログラムを実施する事ができた。編み物クラブの作品は、利用者様からのご提案で施設のパザールへ出品した。各クラブ活動は、利用者様の生きがい作りと役割取得の場となっている。午後は、集団で行うストレッツ体操を中心に活用アイテム（棒・タオル・ゴムチューブ・ヘルスパワーリング）を組み合わせ心身機能の活性に努めた。また、歌体操に加え認知症予防体操（回想法・笑い体操・しりとりゲーム・差異体操）を取り入れ楽しく継続できるよう工夫を凝らした。更に、各担当コーナー「時事ニュース」や「今日は何の日」「体操のお兄さん、お姉さん」タイムは、利用者様より好評を得ている。年間行事は、季節感を取り入れ、機能訓練を兼ねた外出（花見）でお茶会を催し、普段の活動場所以外での楽しみを作れた。

定期的に絵手紙、書道、塗り絵の完成品を展示したり、フラワーアレンジメント教室を開講し利用者様の活動範囲を広げる事ができた。また、2回目となった「月刊デイ」主催の大人の塗り絵コンクールに5名の利用者様が参加された。

10年目を迎える折り紙工作指導において四季を取り入れた作品を多く取り入れて頂いた。制作後の作品ノートは、作品展コーナーに展示し多くの方々に見学して頂きクラブ加の利用者様の制作意欲の向上に繋がった。

2、 体制加算の取り組みについて

個別の認知症加算は認知症予防に資する差異運動や、脳活性トレーニング内容を軸とし、対象利用者様に応じた個別のプログラムを計画し実施した。6か月事に実施評価と更新を行ない利用者様と共に目標や訓練内容について見直しを図っている。評価報告書と更新後の計画書はご本人様、家族様の同意を頂き実施している。また、評価報告書、更新後の新計画書は、利用者様、担当ケアマネジャー様に提出している。

3. 地域密着型通所介護計画書

月間の利用状況報告書の担当制により通所介護計画書の目標に対する進捗状況は毎月更新されている。各担当職員から利用者様の ADL、IADL、日々のケア情報を詳細に取得し計画書の評価や作成に反映出来た。また、計画書の説明と同意を頂く際は、利用者様の自宅を訪問してご本人様や家族様にサービス内容の希望・変更についてのご意向を確認している。

4. 研修への参加

- ・ 施設内・外研修 年間研修計画に沿って定例実施。

その他多数につき研修記録ファイル参照。

- ・ 部署内研修 「ノロウイルスの吐物処理方法について」「認知症について」

「接遇・マナーについて」「ICF の視点について」

「脱水・熱中症について」「インフルエンザについて」6 回実施。

季節や時事に即した研修内容を取り入れ現場での実践活用となった。
担当制で実施し、研修担当職員の学びの機会が図れた。

2017年度

愛らいつデザインサービスセンター事業目標

利用者様一人ひとりの自分らしさを引き出せるよう寄り添い
支えてまいります。また、利用者様の笑顔あふれる交流の場
心安らぐ憩の場となるデザインルームを目指してまいります。

地域密着型デザインサービスの職員として地域貢献活動に努めてま
いります。

平成29年2月 職員一同



愛カフェ

(堺ぬくもりカフェ)



開催日 平成29年5月13日 (土)

時間 9時30分～12時30分

(毎月第2土曜開催ですが祝日の場合は変更いたします)

場所 愛らいふ1階「デイサービスセンターフロア」



喫茶コーナー

ドリンク100円です

・コーヒー・紅茶・ココア・ジュース



軽食 (衛生上お持ち帰り販売はしておりません)



・本日のパン50円・カレーライス250円・セット300円

～5月度ミニ講座～

★ 「認知症だとわかってても...OK」

★ 「脳トレ・ゲーム」

利用者と家族、地域住民、支援者等、どなたでも参加できます!
皆で飲み物を飲みながら、交流や情報交換、レクリエーションなど楽しい
ひとときを過ごしませんか? 都合の良い時間にお立ち寄りください。



(問い合わせ)

社会福祉法人 堺中央共生会

特別養護老人ホーム 愛らいふ

連絡先 072-245-3711

New

マイ・ライフ 輝き★タイム

毎月第3 (木) に開催します

5月18日(木)



堺老人センター1階 多目的室

(お履物はそのままどうぞ)

午後2時～2時45分

★1 心の輝きコーナー

担当 は・る・き

ステージ2：お手軽日記の発表！

～輝きフェイスタイム～ 健口体操で誤嚥を予防

★2 体を元気に輝かせよう！ 担当 さ・わ・だ

～ストレッチ～

5月は、上肢、手先アップ↑体操

愛らいいふデイサービスクラブ活動の様子

クラブ名

花札・編み物・園芸・折り紙・将棋

活動状況

週1回～随時、各クラブ参加者は2～3名



*花札クラブ



編み物クラブ



折り紙クラブ



園芸クラブ



平成29年度

愛らいいふデイサービスセンター

<年間行事予定表>

4月 お花見



10月

秋の運動会

5月 作品展

11月 園児との交流会

6月 手作りおやつ

12月 クリスマス会



7月 七夕祭り

1月 新春かくし芸大会

8月 夏祭り

2月 節分祭



9月 敬老祝賀会



3月 桃の節句

平成28年度 デイサービスセンター アンケート結果報告

実施期間:平成29年2月1日～2月28日

利用者数:52名	満足している	現状で良い	改善してほしい	解らない	ご意見・要望
入院・静養者:6名					
回答者数:46名					
1.フロア内清掃度 (椅子、テーブル)	20	20	0	6	・比較的きれいに保てていると話される方が多数でした。
2.食事内容 (形態、メニュー)	27	14	2	3	・おでんやお寿司の回数を増やしてほしい。・味が薄い時がある。 ・全体的に味が薄いからもう少し味付けを工夫してほしい。 ・お造り(イカ)が食べたい。
3.入浴 (入浴形態、ペース)	26	12	4	4	・脱衣室や浴室をもう少し温めてほしい。 ・もう少しゆっくりとお風呂に入りたい。 ・(洗髪と入浴禁止の方)頭を洗って、半身浴だけでもしたい。
4.サービス内容	22	18	3	3	・喫茶のお菓子が少ない。 ・モーニングのパンの量が少ない。
5.新サービス(定員18名、地域密着型)	6	30	1	9	・難しい事を聞かれても解らない、理解できない。 ・人が少なく感じる。
6.職員の対応 (挨拶、話し方)	30	13	3	1	・中には挨拶をしない職員がいる。 ・(送迎時間に関して)もう少し時間を守ってほしい。
7.行事内容	20	22	0	4	・調理レクを増やしてほしい。
8.レクリエーション	15	25	3	3	・職員が休みの日は人は少なくて淋しい。 ・体操ばかりは嫌。
9.座席	12	25	4	5	・慣れた人とトイレに近い座席がいい。 ・同じ人で同じ席がいい。・日によって嫌な人と同席になり、気を遣うことがある。 ・席を全てくっつけてみんな顔を合わせて話してみたい、ご飯を食べたい。
10.誕生日内容	12	26	2	6	・前に出て、写真撮影は嫌。(2名) ・喜びのあるもので、食べ物より形ある物がいい。 ・本当のケーキが食べたい。(4名)・赤飯が食べたい。

【その他ご意見・要望】

- ・曜日の違う親交の深い利用者様と同じ曜日に利用したい。
- ・アンケート内容について、ここのデイサービスしか利用していないから比べようがない。